

会 議 録	
会 議 名	第6回真庭市子ども・子育て会議
日 時	令和4年1月26日(水) 19:00~20:00
場 所	真庭市役所 本庁舎 2階大会議室
出 席 者	<p>&lt;出席委員&gt; 12名  有本委員、市川委員、内田委員、岸本委員、清友委員、  佐藤委員、庄司委員、西山委員、原田委員、藤田委員、  前田委員、牧原委員</p> <p>&lt;欠席委員&gt; 2名  杉本委員、山下委員</p> <p>&lt;事務局&gt; 2名  健康福祉部子育て支援課 石田課長  健康福祉部子育て支援課 硯参事</p>
傍 聴 者 数	傍聴者 2人
次 第	1 開 会 2 会長挨拶 3 議 題 (1) 計画の修正等について (2) 幼児教育施設の充実に向けた基本方針(案)について 4 その他 5 閉 会

## 1 開 会

(事務局 石田課長)

定刻となりましたので、ただいまから、第6回真庭市子ども・子育て会議を開催いたします。

本日も、このような遅い時間にお集まりいただきありがとうございます。

はじめに、お手元の資料等を確認させていただきます。次第と資料が1～4までとなります。

不足はございませんでしょうか。不足がある場合は、事務局にお申し付けください。

本日の会議の終了時刻は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から午後8時を目安に、1時間以内とさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして佐藤会長からご挨拶を賜りたいと存じます。

## 2 会長挨拶

～佐藤会長よりあいさつ～

(事務局 石田課長)

本日は、委員14名中12名の方にご出席いただいております。

過半数に達しておりますので真庭市子ども・子育て会議条例の第5条第2項の規定により会議は成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、以降の進行は佐藤会長からお願いいたします。

## 3 議 題

(1) 答申(案)について

(佐藤会長)

「計画の修正等」について事務局から説明をお願いします。

(事務局 硯参事)

～資料1により説明。～

(佐藤会長)

ただいま、事務局から説明がありました。答申を受けて、既存の計画を修正するという内容でしたが、この件につきましてご質問等ございましたらお願いいたします。

(清友委員)

計画書の中に、「米来幼稚園」が出てくるが、「米来こども園」の間違いでないか。

(西山委員)

同じく、計画書の中に、「木山保育園」とあるが、「木山こども園」の間違いではないか。

(事務局 石田課長)

両委員とも、おっしゃるとおりで、表記が間違っておりました。修正させていただきます。

(佐藤会長)

その他にはありますか。

～特になし～

それでは、議題（１）についてはこれで終わりにしたいと思います。

(２) 幼児教育施設の充実に向けた基本方針（案）について

(佐藤会長)

次に、「幼児教育施設の充実に向けた基本方針（案）」について事務局から説明をお願いします。

(事務局 硯参事)

～資料２～４により説明。～

(佐藤会長)

ただいま、事務局から説明がありました。幼児教育施設を充実させるための基本方針とその基準について、委員の皆様からご意見をいただきたいのですが、まず、資料４にあります教育・保育目標（乳幼児期に育てたい３つの力）を形成するため、真庭市の園で現在取り組んでいる内容について、北房こども園の園長でもあります牧原委員にご紹介いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

(牧原委員)

～資料４により説明。～

(佐藤会長)

ありがとうございました。

今回は、審議と言うより、意見交換といったイメージで、それぞれのお立場でご自由にご発言いただければよろしいかと思いますが、事務局はそれでよろしいか。

(事務局)

おっしゃるとおりです。お願いします。

(佐藤会長)

分かりました。一応テーマとして、真庭市の教育・保育目標の実現、小学校あるいは園との接続などありますが、これ以外でも、施設を充実させるためにこんな取り組みもできるのではとか、こういった基準を設けてみてはどうかと

いったご意見もいただければと思います。それではお願いします。

(市川委員)

園整備にあたっては、認定こども園と、0から2歳児と2つの施設を別々にするのか。また、認定こども園として、0から5歳児についてを1つの施設として整備するのか。

(事務局 石田課長)

地域によってニーズが違っており、0から2歳児が不足しているところについては小規模保育事業ができれば良いと思う地域もありますし、0から5歳児について1つの施設でカバーできれば良いと思う地域もあります。

(西山委員)

認定こども園と0から2歳児の受け皿となる施設については、資料では教育・保育目標が同じになっているが、真庭市の基本的な方針としては、どちらも同じと考えれば良いか。

(事務局 石田課長)

おっしゃるとおりです。

(佐藤会長)

真庭市が掲げる3つの力については、各園ごとにこれに付帯するような取り組み(計画)のようなものがあるのか。

(牧原委員)

各園によって、地域性や子どもの状況に合わせて目標を立てて取り組んでいる。

(庄司委員)

つどいの広場をしているが、子どもによって発達に差があると感じている。連携という面では薄いと感じている。提案として、定期的に先生方と協議する場があれば良いと思う。

(岸本委員)

園の方では小学校との連携はどうなっているか。

(牧原委員)

来年度、小学1年生になる子どもたちの様子を伝えたり、小学校の先生にその子たちの様子を園に見に来てもらったりしている。就学前には、その子たちの特性やどのような手立てをしてきたかを伝えている。小学校に上がったからは、園の先生が学校に行き、授業の様子を見させてもらい、どのように成長しているかなど情報交換を行っている。

(清友委員)

小学校では、「スタートアップカリキュラム」など、目に見える形での接続を行っている。夏休みには園の様子を見に行っている。就学前には、園児を小

学校に招いて、小学1年生と5年生の生徒との交流を行っている。

(清友委員)

親が学んで欲しいとつくづく感じている。園の段階から小学校をバックアップしていただくような体制で送り出して欲しい。

(佐藤会長)

小学校との連携、地域との連携もあるが、家庭との連携も基本方針(基準)に何らかの形で入れてもらいたい。

(内田委員)

子どもや親と保育士との信頼関係を築くことが大切だと感じる。

(前田委員)

保育園から小学校に上がるとき、環境の大きな変化に子どもだけでなく、親も戸惑う。子どもについては、段階的に慣れていくような取り組みをされていると思うが、親としてもステップアップしていけるような取り組みが必要だと思う。

(佐藤会長)

横浜市が、接続に関して先進的な取り組みをされている。

(清友委員)

中学校に入った途端に不登校になる生徒が多い。(小さな集団から大きな集団への適応ができないことによる場合もある。)園の場合も、園と園との連携や交流、特に小規模園と大規模園との連携や交流が必要と考える。

(前田委員)

子どもや親が園や地域を越えて交流できる場を提供してもらいたい。

(事務局 石田課長)

不安を感じている親が多いと聞いています。森の幼稚園的なイメージかなと思います。

～終了～

(佐藤会長)

それでは、事務局にお返しさせていただきます。

#### 4 その他

(事務局 石田課長)

ありがとうございました。

今回、いただきましたご意見を基本方針や基準等の参考とさせていただきます。

次回の開催時期は未定ですが、ご審議いただきたい案件がございますので、よろしく願いいたします。

## 5 閉 会

(事務局 石田課長)

本日も慎重審議いただきましてありがとうございました。

閉会にあたりまして杉本副会長よりご挨拶を賜るところですが、ご欠席のため、佐藤会長からご挨拶を賜りたいと存じます。

～佐藤会長よりあいさつ～

(事務局 石田課長)

ありがとうございました。以上をもちまして、第6回真庭市子ども・子育て会議を閉会いたします。お気を付けてお帰りください。